広報 KOUHOU MIBU

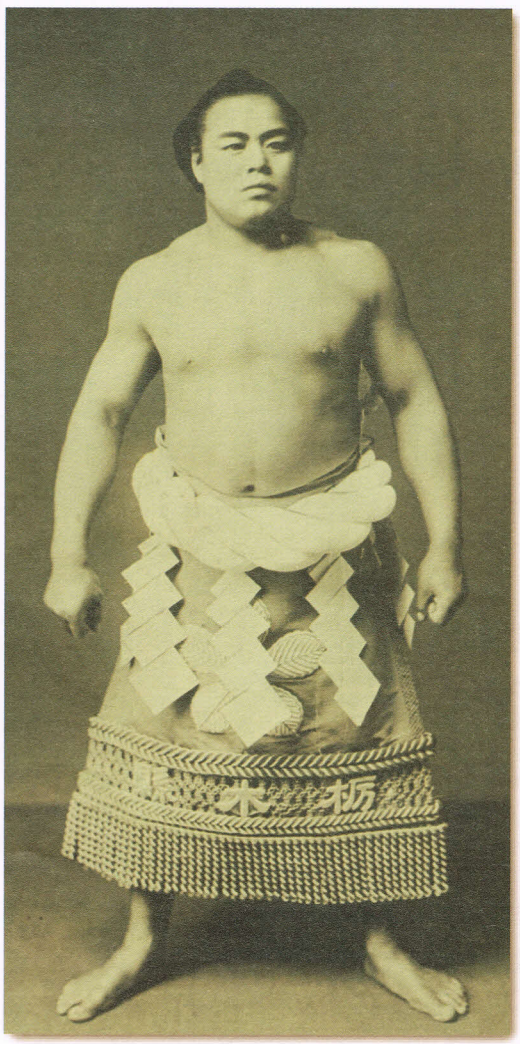
壬生 MIBU

No.547
12月号
2004

古今随一の名行司と名力士

平成17年2月5日(土)～3月13日(日)

松翁・20代木村庄之助



27代横綱・栃木山

木村庄之助といえば、相撲界でいう横綱、つまり行司の世界の最高峰です。

昭和初期、“はっけよい（発気揚々）の神様”とうたわれたのが壬生町下稲葉出身の松翁・20代木村庄之助（本名：鯉沼子之吉）です。

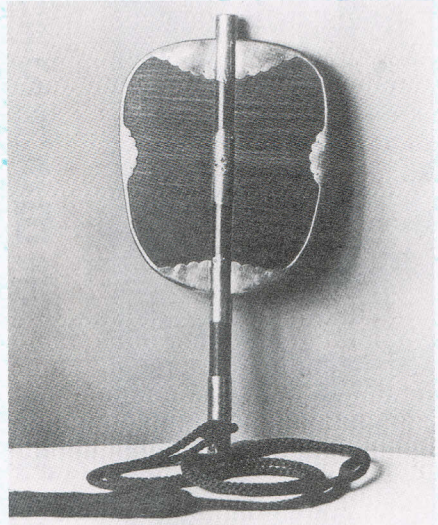
町歴史民俗資料館では、同じ時期・同じ土俵に活躍したカタヤ壬生町出身・木村庄之助、コナタ藤岡町出身・横綱栃木山の二人の偉業を紹介します（関連記事２頁）。

発行／壬生町役場　〒321-0292　栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号　編集／総務部企画財政課広報広聴係　☎0282-81-1812　毎月23日発行
ホームページアドレス http://www.town.mibu.tochigi.jp　FAX0282-82-8262

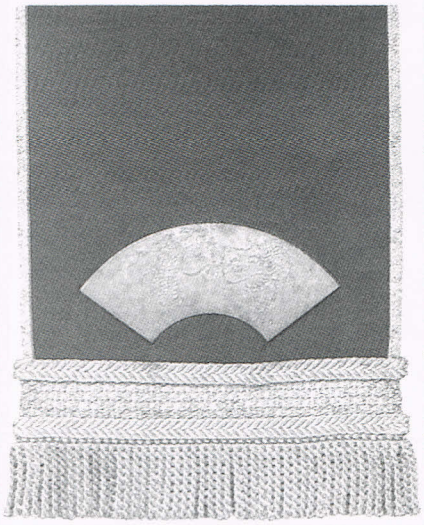
古今随一の名行司と名力士

～“はっけよいの神様”木村庄之助と“無敵横綱”栃木山 展～

木村庄之助（1876－1940）は、都賀郡上奈良部に生まれ、４歳の時、稲葉村下稲葉（現壬生町）の鯉沼宇源太の養子となり幼年期を壬生町で過ごしました。９歳の時、宇源太が弟子入りしていた式守家に入門、式守錦太夫、式守与太夫となり、15代式守伊之助を襲名。のちに木村家の20代庄之助となりました。そして、58歳の時、相撲行司の家元・吉田家から「相撲行司大意の巻」を授かり、この秘巻は過去に15代木村庄之助・初代高砂浦五郎・常陸山谷右衛門の３人だけでした。さらにその翌年、相撲協会から庄之助の歴史以来、唯一人“松翁”の称号を授かりました。庄之助は代々のものですが松翁はちがいます。行司としての技量、見識、そして翁の字が示すように、50年以上この道に専念した名人にのみ許される尊称であり、庄之助に冠される至上の栄誉といえるのです。庄之助は後に大横綱となる藤岡町出身・栃木山（1892－1959）を仕切り、横綱・双葉山の69連勝を裁き見とどけた名行司。同じ土俵に活躍した栃木県出身の名行司と名力士を（財）日本相撲協会相撲博物館の協力をいただき展示公開いたします。



松翁がいつも用いた軍配



栃木山使用の化粧廻し（三ツ揃）

■展示会

- ●会　　期　平成17年２月５日㈯～３月13日㈰
- ●開館時間　午前９時～午後５時（入館は４時30分まで）
- ●観 覧 料　200円（中学生以下無料）
- ●休 館 日　月曜日及び火曜日午前

■講演会

「松翁・木村庄之助と栃木山」

- ●日　　時　３月６日㈰　午後２時より
- ●講　　師　元28代木村庄之助（松翁・養子）
- ●場　　所　壬生中央公民館研修室

＊先着100名様まで聴講いただけます。
＊事前にお電話でお申し込みください。

お問い合わせ：壬生町立歴史民俗資料館　☎0282－82－8544

※今回、相撲協会のご協力により、現・木村庄之助（31代）が使用している“ゆずり軍配”を公開できることになりました。皆さん、是非とも御高覧ください。

生命と財産を守る壬生町消防団

消防団通常点検

11月23日、町総合運動場で町消防団（中根幸男団長・団員201名）の通常点検が行われました。

町内外の消防関係者の来賓が見守る中、人員・服装点検、機械器具点検、放水点検などが行われ、その後、永年勤続者や退団者、防火貯水槽土地提供者などの表彰が行われました。

その後、蘭学通りに場所を移して分列行進を行い、行進終了後には、御琴神社前役場職員駐車場で消防車の展示、放水体験等を行いました。

また、壬生寺保育園・メリーランド保育園の園児たちが、「火の用心」の声を発しながらパレードの先頭を歩いて、火災予防を呼びかけました。

中根団長を先頭に行われた分列行進

表彰

（敬称略）

栃木県消防協会長表彰

◎勤続章35年　団長　中根幸男

◎勤続章10年

第1分団副分団長　戸崎代志夫

〃　第2部団員　尾崎長二郎

第3分団第1部団員　田村治男

栃木県消防協会下都賀支部長表彰

◎功績章8年

第3分団第1部団員　野沢忠則

〃　第5部団員　渡辺政人

◎勤続章5年

第1分団第1部団員　植竹清明

〃　第1部団員　藤田泰拡

〃　第1部団員　松葉　茂

〃　第2部団員　谷口拓也

〃　第4部団員　篠原雅実

〃　第4部団員　倉井宏之

〃　第5部班長　小出　裕

〃　第5部団員　戸崎勝巳

第2分団第3部部長　菅原　明

〃　第3部班長　山口通男

〃　第3部団員　篠原　剛

第3分団第1部団員　山井孝則

〃　第1部団員　山口育郎

〃　第2部部長　本澤　誠

〃　第2部団員　平山元治

〃　第3部部長　川又輝義

〃　第3部班長　上田正人

〃　第4部部長　粂川和弘

〃　第4部班長　清野敏史

〃　第5部部長　阿彦直弥

〃　第5部団員　青木幸司

石橋地区消防団連絡協議会会長表彰

◎優良部　第2分団第1部

第2分団第5部

壬生町長表彰

◎勤続章35年　団長　中根幸男

◎勤続章10年

第1分団副分団長　戸崎代志夫

〃　第2部団員　尾崎長二郎

第3分団第1部団員　田村治男

◎勤続章5年

（栃木県消防協会下都賀支部長表彰と同じ）

◎優良部及び努力賞の部

〈優良部〉

＊消防ポンプ自動車の部

第2分団第1部

第3分団第1部

＊小型動力ポンプ積載車の部

第1分団第5部

第2分団第5部

〈努力部〉

＊消防ポンプ自動車の部

第1分団第1部

＊小型動力ポンプ積載車の部

第1分団第3部

感謝状

◎平成15年度退団者

梁島　進　他37名

◎消火協力者

田中宏和

小島高雄

小平栄治

◎防火貯水槽土地提供者

上長田地区　中川利夫

◎内助の功表彰（10年）

第1分団副分団長　戸崎代志夫

令夫人真由美

〃　第2部団員　尾崎長二郎

令夫人克美

第3分団第1部団員　田村治男

令夫人智代子

火は消した？
いつも心に　きいてみて

頼もしい団員による一斉放水

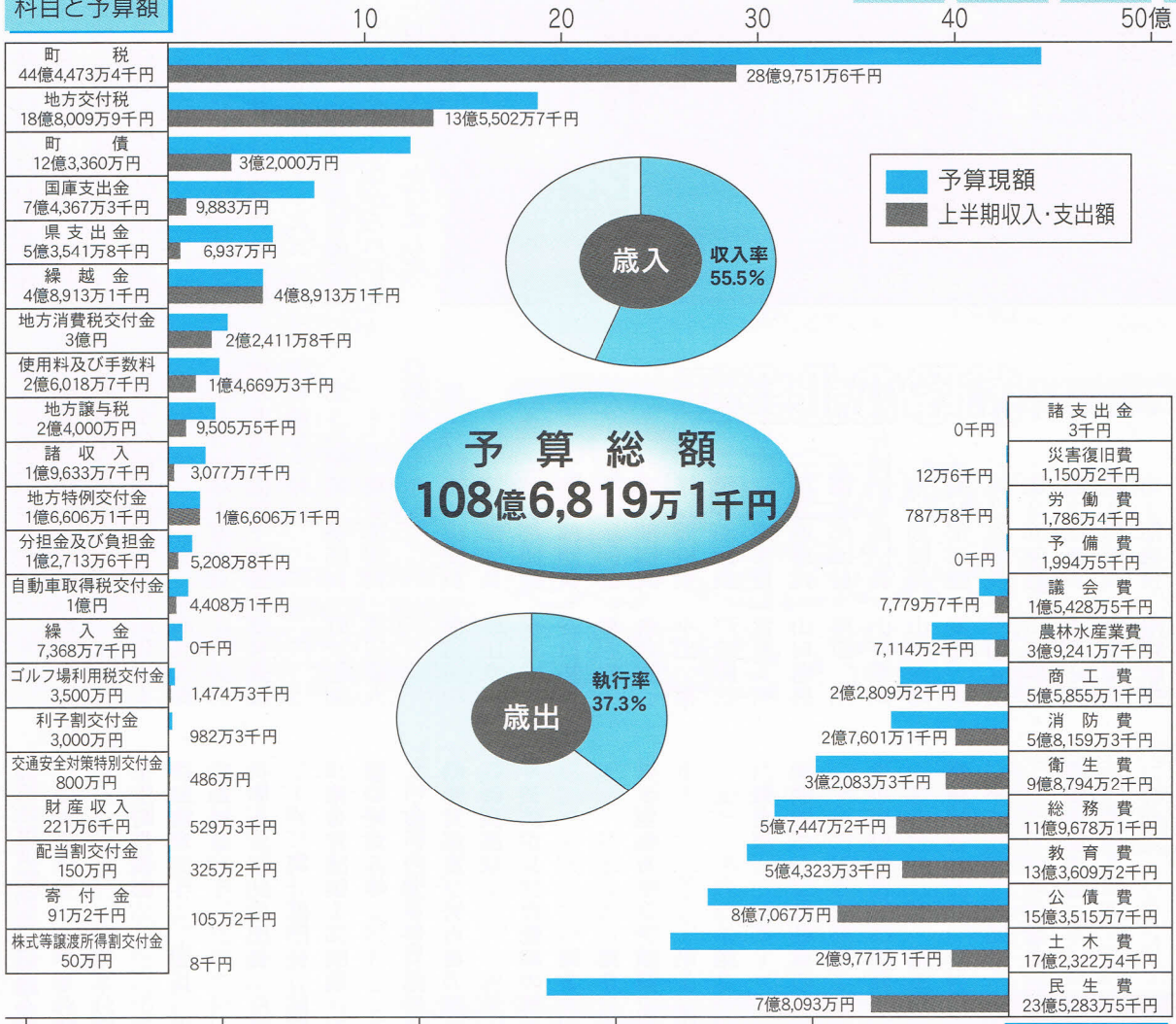
町では、皆さんに町の財政状況を正しく理解していただくとともに、納められた税金や国・県支出金がどのように使われているかを知っていただくため、「財政状況の公表に関する条例」に基づき、年2回（広報壬生6月・12月号）財政状況を公表しています。今回は、平成16年度上半期（平成16年4月1日から9月30日）の収入と支出の状況についてお知らせします。

平成16年度上半期
町の財政状況報告
（平成16年９月30日現在）

一般会計

歳入
科目と予算額

収入済額　60億2,777万8千円（収入率55.5％）



歳出
科目と予算額

支出済額　40億4,889万5千円（執行率37.3％）

『歳出の主な内容（活用のされ方）について』

●歳出予算の内容には、その目的ごとに款と呼ばれる区分で計上されています。主な款がどのようなことに活用されているかを説明します。

●総務費
他の事業・事務の増減に特に関係なく、通常必要とされる経費で、本庁舎・出先機関等の維持管理に要する経費や全般的な管理事務、企画調整事務、財政・財務管理に要する経費等が計上されています。

●民生費
住民の一定水準の生活と安定した社会生活を保障するのに必要な経費で、具体的には社会福祉、身体障害者、高齢者、児童福祉及び災害救助関係の経費等が計上されています。

●衛生費
住民が健康で衛生的な環境を保持するための経費で、健康増進・医療の充実及び環境の保全等に要する経費が計上されています。

●農林水産業費
農業の振興を図るための各種支援・補助や生産基盤の整備に要する経費が計上されています。

●商工費
商工業の振興を図るための各種支援及び観光事業等に要する経費

特別会計

公共下水道事業

予算額 14億4,268万2千円 (執行率)
収入済額 1億7,276万円 12.0%
支出済額 5億5,751万2千円 38.6%

(収支の不足額は、一般会計から運用しました。)

国民健康保険

予算額 35億9,434万4千円 (執行率)
収入済額 14億7,311万1千円 41.0%
支出済額 14億6,277万7千円 40.7%

介護保険事業

予算額 13億2,968万9千円 (執行率)
収入済額 5億437万1千円 37.9%
支出済額 5億3,205万2千円 40.0%

(収支の不足額は、一般会計から運用しました。)

農業集落排水事業

予算額 3億1,295万2千円 (執行率)
収入済額 2,200万6千円 7.0%
支出済額 9,307万4千円 29.7%

(収支の不足額は、一般会計から運用しました。)

老人保健事業

予算額 28億4,534万2千円 (執行率)
収入済額 12億6,037万8千円 44.3%
支出済額 12億934万7千円 42.5%

奨学資金

予算額 242万円 (執行率)
収入済額 239万7千円 99.0%
支出済額 165万円 68.2%

企業会計

水道事業

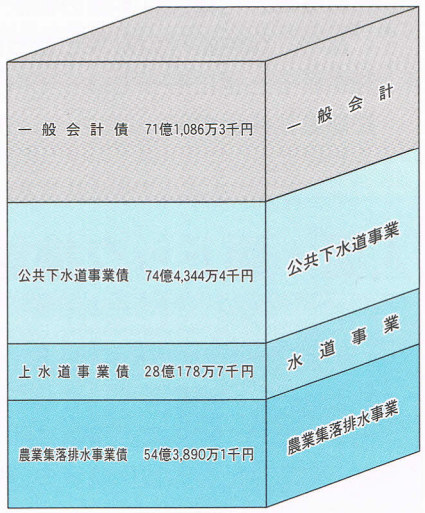
収益的収支

収入予算額	5億7,325万2千円
収入済額	2億683万8千円
支出予算額	5億2,094万4千円
支出済額	1億4,338万4千円

資本的収支

収入予算額	1億1,628万円
収入済額	0千円
支出予算額	3億5,789万4千円
支出済額	1億57万3千円

地方債現在高



町税の内訳

	予算現額	収入済額
町民税	17億2,913万1千円	8億2,099万1千円
固定資産税	21億3,981万3千円	17億630万7千円
軽自動車税	4,732万2千円	4,612万7千円
町たばこ税	2億3,280万円	1億1,958万4千円
特別土地保有税	1千円	76万4千円
都市計画税	2億9,566万7千円	2億374万3千円

税の負担状況

	町民税	固定資産税	軽自動車税	町たばこ税	特別土地保有税	都市計画税
1人当り 72,782円	20,622円	42,860円	1,159円	3,004円	19円	5,118円
1世帯当り 215,044円	60,931円	126,637円	3,423円	8,875円	57円	15,121円

(平成16年4月1日　人口 39,811人　世帯数 13,474世帯)

が計上されています。

●土木費
道路、橋、公園などの社会資本の整備・維持管理に要する経費が計上されています。

●教育費
小中学校教育の実施・充実、社会教育・生涯学習の推進、芸術・文化・スポーツの振興に要する経費が計上されています。

●公債費
町債の元金の返済と、利息の支払いに要する経費が計上されています。

国民健康保険における海外療養費制度について

旅行などで海外へ行く人が増えています。このような状況のなか、国民健康保険の被保険者のみなさんが、海外渡航中に病気やけがで治療を受けたときについて、平成13年１月１日から保険が適用されています。

海外渡航中に治療を受け、帰国後医療費の一部について払い戻しを受ける場合の手続きは、次のようになります。

海外で　①受診した海外の医療機関では、一旦、かかった金額の全額を支払います。

②その医療機関で、治療内容やかかった医療費等の証明書をもらいます。

{(治療内容明細書)、(領収明細書）等の書類}

帰国後　③帰国後、ご加入の壬生町国民健康保険窓口へ申請します。

{上記の書類と（療養費支給申請書）を提出}

④壬生町国民健康保険から保険給付分が払い戻されます。

※海外療養費を申請するときに、上記の（診療内容明細書)、(領収明細書）が外国語で作成されている場合には、日本語の翻訳文を添付することが義務づけられています。

なお、保険給付の対象となる医療行為の詳しい内容や、診療内容明細書・領収明細書は、海外へ行かれるときにもっていっていただくことになりますので、事前に壬生町国民健康保険（保健課国民健康保険係☎81－1836）へお問い合わせください。

人間・脳ドック検診助成金申請の案内通知の廃止について

事務費削減のため、これまで各該当世帯に送付しておりました申請に関する案内の通知（例年４月１日付）を廃止して、替わりに広報（国保だより）に掲載することと致しましたのでご理解願います。なお、来年度の申請に関する案内は、２月号の国保だよりに掲載予定でありますので、申請を予定されている被保険者の方はご注意ください。

「健康に関する講演会」の開催のお知らせ

- 期　　日　平成17年２月10日㈭
- 会　　場　壬生町保健福祉センター
- 講　　師　輪島直幸　先生

詳細については、１月下旬頃にパンフレットを配布いたします。

※写真は昨年の講演会のものです

国保だより

壬生町国民健康保険の実態

国保制度は、相互扶助の目的の基に発足し、今日では欠くことのできない医療制度です。
必要な時に安心して医療が受けられるためにも、日頃から医療財源を大切にしなければなりません。
今回は、本町の国民健康保険の加入状況、財政状況等をお知らせいたします。

●国民健康保険の加入状況

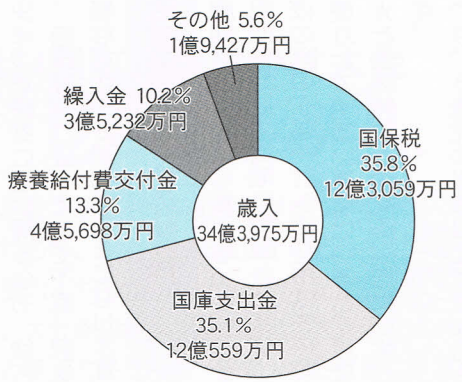
本町における国保の加入者は、6,938世帯、15,560人で町全体に占める割合は、世帯数で52.1%、人口で39.0%となっています。また、退職被保険者で1,873人、老人保健対象者で3,206人と年々増加傾向にあります。

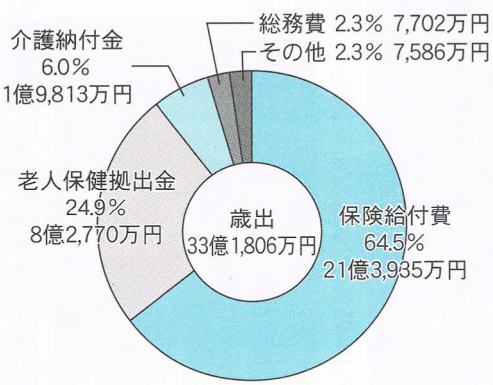
●年度別加入状況（住民基本台帳登録数）

（各年度末現在）

年度	町		国保		国保加入率（%）		退職被保数（再掲）	老人保健者数（再掲）
	人口	世帯	被保険者数	世帯	被保険者	世帯		
11	39,576	12,836	13,964	5,998	35.3	46.7	1,264	2,993
12	39,767	13,046	14,237	6,194	35.8	47.5	1,329	3,125
13	39,834	13,177	14,747	6,505	37.0	49.4	1,520	3,280
14	39,821	13,258	15,323	6,738	38.5	50.8	1,668	3,346
15	39,892	13,309	15,560	6,938	39.0	52.1	1,873	3,206

平成15年度国民健康保険特別会計の財政状況





歳入については、保健税・国県支出金が70.9%と大部分を占め、歳出については、保険給付費・老人保健拠出金・介護納付金が、95.4%とほとんどを占めています。

以上のことから、皆さんに納めていただく保険税は、国の支出金などと共に保険給付費等に充てられ、国保の重要な財源になっております。

保険税負担額	一人当たり	83,277円
	一世帯当たり	187,643円
保険給付費	一人当たり	202,812円
	一世帯当たり	457,463円

平成14年度からの伸び率は

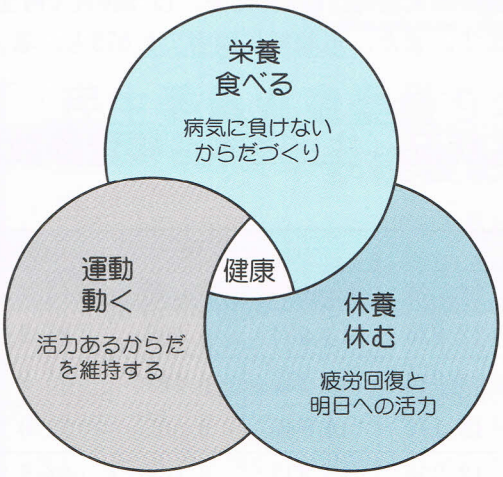
保険税負担額は、	一人当たり	▲5.0%
	一世帯当たり	▲5.6%
保険給付費では、	一人当たり	10.3%
	一世帯当たり	9.7%

保険税負担額は減少、保険給付費は増加しています。

健康だより

59号

疲れた体や心を休める休養は、食生活、運動ともに健康づくりの3要素として位置づけされています。
今回は、「健康みぶ21計画」の中でも7領域のひとつでもある休養・こころの健康づくりについて考えて見ましょう。



1ヶ月間にかけて大きなストレスを感じた人の割合は、女性の20歳代から40歳代にかけ高くなっています。

「目覚めるとき、疲労感が残ることが週3回以上ある」人の割合については、男女ともに20歳代から40歳代にかけて高くなっています。

ストレス解消のため、何か実行している人は35％おり、睡眠のため安定剤やアルコールを飲んでいる方もいました。

眠りの基本を紹介します

睡眠は、こころの健康を保つ上で重要なものです。眠ることは、脳や神経を休養させるためになくてはならない大事な生理現象です。

健康でいるための睡眠時間はおよそ6～8時間くらいが成人の睡眠時間の目安といわれていますが、個人差があり、どれくらい眠れば健康なのか示す指針は今のところありません。

夜の眠りが浅い。身体がだるく頭痛がする。朝早く目覚めてしまう。イライラする。頭がすっきりしない。など、こんな症状を訴える方がふえています。これは、体内時計の悪影響と考えられます。

ニワトリが決まった時間に鳴き出すのは体内時計があるから?

ヒトに限らず、生物はすべて体内に時計を持っています。

水鳥たちが決まった時刻に沼に帰るのも、彼らの体の中にある時計のおかげ。体内時計が衰えると、自律神経が狂ってきて不眠、眠気、頭痛、だるさはもちろん、慢性的な疲労感や脱力感などを引き起こすことになります。

生活習慣と睡眠の関係

生体時計の周期は24時間より長くなっています。生体時計は、毎日「同調因子」を手がかりにその周期を地球の周期に同調させます。同調因子は**朝の光、食事、社会的環境。**

同じ光でも夜の光の生体時計への作用は生体時計の周期を逆に長くさせます。

つまり、夜更かしで明るい環境にいると、夜は眠りにつきづらくなり、朝は起きづらくなります。光と生体時計との関係は自然に生じています。ヒトは周期24時間の地球で生きる生物です。

現在の日本では、3歳児の半数以上が夜10時を過ぎても起きているというデータがあり、小中学生も深夜型化しており、深夜零時を過ぎても起きている小学生がここ15年間で4．5倍、中学生でも2．7倍に増えているといわれ、訴えのベスト3は、**あくびが出る、眠い、イライラする**で、睡眠時間の国際比較でも日本の短さが際だっているようです。

快眠のための生活習慣の改善

1 毎朝しっかり朝日の光を取り入れて。
2 ごはんはしっかりよく噛んでたべよう。とくに朝はきちんと食べる。
3 昼間はたっぷり運動をしよう。
4 お昼寝は、午後3時前の20～30分まで。
5 寝る前の入眠儀式を大切に。
6 暗い部屋でゆっくりお休み。
7 まずは早起きをして、悪循環（夜更かし→朝寝坊→慢性時差ぼけ→眠れない→起きれない）を断ち切ろう。

平成15年5月に健康増進法が施行され、国民の責務として、生涯にわたり自らの健康状態を自覚し、健康の増進に努める旨の規定が定められたことは、皆さま、すでにご存知でそれぞれ自分に合った健康づくりを実施かと思います。

国においては、がん検診に関する検討会が設置され、特に「乳がん検診」及び「子宮がん検診」について、死亡率減少効果の観点から実施方法や対象年齢など専門的見地から検討が行われ、国の指針がでたところです。

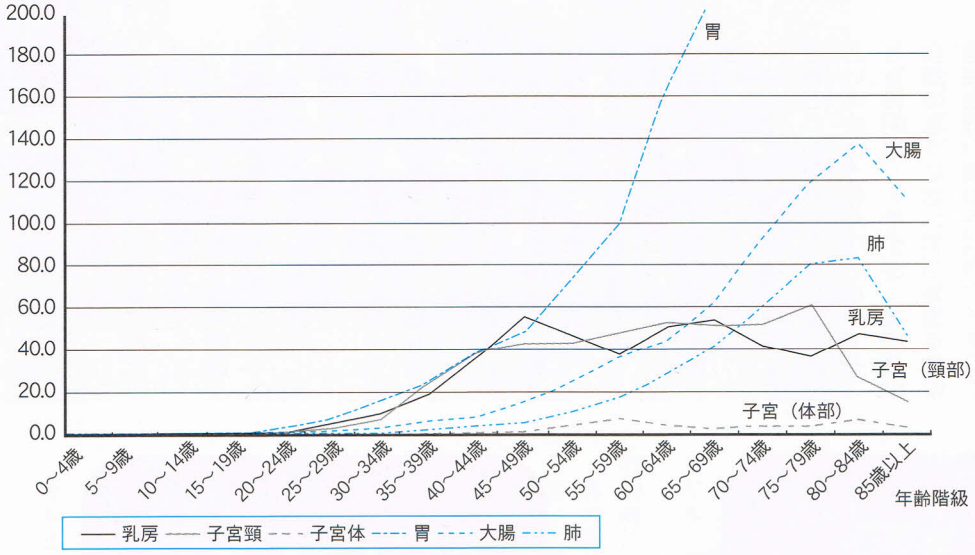
女性のがん罹患は下記のように年代別に特徴があり、30歳代は子宮がんが、また、40歳代に乳がんのピークを迎え、50歳以上になると大腸、胃、肺がんが増えてきており、年代にあわせた検診や対策が必要になります。

町の「乳がん検診」「子宮がん検診」について

乳がん検診

現在町では、乳がん検診は、30歳以上の方を対象に乳房X線撮影（マンモグラフィ）併用超音波検査、触診併用超音波検査のふたとおり実施しており、本人の希望でどちらかを選んで受けています。昨年は2,450人の方が受診し、がんの方も発見されました。マンモグラフィ検査は30歳代の方も多くうけていますが、精密検査を要する方も多くいました。

女性の部位別がん罹患率（1975年）



厚生労働省がん研究助成金による『地域がん登録』研究班の推計値より

子宮がん検診

子宮がん検診は、30歳代以上の女性を対象にした子宮頸部の細胞診によるがん検診です。昨年は、2,085人の方が受診し、若い方のがんが発見されました。

17年度からの検診

乳がん検診

30歳代は、放射線被爆や繊維質が多いので写りにくく要精密検査になる率が高いというデメリットがありますので、医師による視触診併用超音波検査を、40歳以上はX線撮影（マンモグラフィ）併用超音波検査を対象とします。

子宮がん検診

30歳以上を対象とします。

これらのがんの成長速度の進行度や検査に伴う危険の程度や費用なども含めて考えると2年に1度でいいということで、**17年度は偶数の年齢になる方**を対象といたしますので、ご了承ください。

婦人がん検診は隔年に一度

検診項目	30歳代	40歳以降
乳がん検診	触診・超音波検査	マンモグラフィ・超音波検査
子宮頸部がん検診	頸部擦過検査	頸部擦過検査

結核検診

夏に町内各所で行っていました結核検診（住民検診）は、結核予防法の一部改正により、65歳以上の方が対象となりました。

胃、大腸がん、肺がん検診は、毎年受診ください。

伝言板

17年度の「集団健診申込書」は、2月に保健委員を通して各世帯に配布予定です。

豊かな心の育成に向けて

壬生北小学校
豊かな体験活動推進事業
（長期宿泊体験の実施）

文部科学省では、長期にわたる集団宿泊等の共同生活を通して、子どもたちに協調性や規範意識、公衆道徳等の育成を目指す試みとして、全国の８００校を指定し調査研究を実施しています。

本町では、壬生北小学校が指定を受け、２年間の研究に取り組んでいます。

壬生北小学校では、３年生～６年生で異年令集団を編成し、様々な活動を通して主体性や協調性を培うことをねらいとして、５月に「太平少年自然の家」、７月に「とちぎ海浜自然の家」で宿泊体験学習を行いました。

10月には、人や自然、命ある生き物とのかかわりを通して、認め合い高め合う豊かな心を育てることを目的に、６年生が「なす高原自然の家」において、３泊４日の宿泊を行いました。

今後、豊かな人間性や社会性を育むために、子どもたちが自然体験や社会体験などを実施する機会を増やすため、学校・家庭・地域が一体となりそれぞれの教育機能を発揮することが求められています。

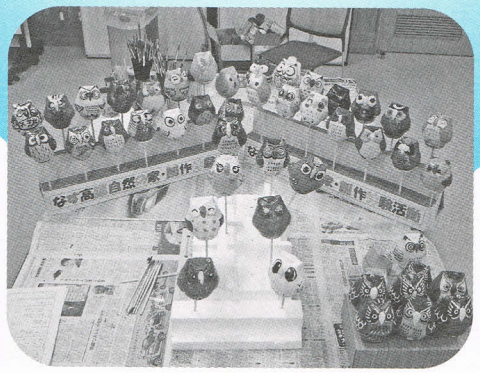
10月　なす高原自然の家

5月　太平少年自然の家

豊かな心

10月　なす高原自然の家

7月　とちぎ海浜自然の家



豊かな体験と交流活動を通して

壬生町子ども会育成会連絡協議会

第2回みぶっ子ドッジボール大会

壬生町子ども会育成会連絡協議会（佐藤尚子会長　以下「町子連」）が中心となって、11月7日㈰に第2回みぶっ子ドッジボール大会が開催されました。

下学年の部（小学校1～3年生）10チーム、上学年の部（小学校4～6年生）10チーム、延べにして21育成会・223人が参加し、熱戦が繰りひろげられました。優勝を目指して頑張った選手達はもちろん、それを夢中で応援する子ども達や保護者の皆さんの姿が大変印象的でした。

参加者の募集に関しては、各育成会長さんや各小学校区の役員さんが担当しました。また、チーム編成に関しては、大会に参加する育成会長さん達が話し合いの場を持ち、「より多くの子ども達が楽しめるように」と、人数の少ない育成会を救済する様々な方法が提案されました。このような町子連の方々の努力のおかげで、子ども達と大人達が一体となった大会にすることができました。

このドッジボール大会は数年前から開催を検討されてきましたが、まだ2回目ということもあり様々な改善すべき点が残っています。ある育成会長さんの「今はまだ手探りの状態かもしれないが、回数を重ねながらみんなで意見を出し合い、より良いものにしていこう」の言葉の通り、町子連の思いが込められた手作りの大会にしていきたいものです。

町子連は、子ども会育成会相互の連絡を図り、壬生町の子ども会がともに健全な活動ができるようにすることを目的としています。主に宿泊研修、ドッジボール大会、カルタとり大会を主催していますが、今後も各育成会長さんをはじめとする様々な方々の御協力を頂きながら、豊かな体験と交流活動を通して壬生町の子ども達の健全な育成を図っていきます。

【競技結果】

下学年の部

優　勝　むつみっ子D（緑町1丁目ほか）

準優勝　むつみっ子C（若草町ほか）

第3位　落合・本田（落合・本田）

上学年の部

優　勝　壬生B（車塚ほか）

準優勝　あけぼの（あけぼの）

第3位　北小林（北小林）

◀むつみっ子Dチーム

◀壬生Bチーム

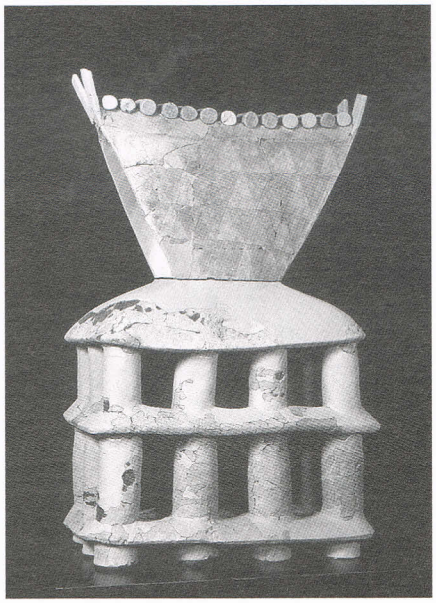
衛星放送による「オープンカレッジ」の放映

生涯学習館では、１階ロビーに設置してあるモニターテレビで、文部科学省が実施する衛星を利用した教育情報通信ネットワーク（通称「エル・ネット」）により、全国の国公私立大学の教授、助教授による公開講座を毎月放映しています。

放映内容は、自然や歴史、文化、保健、福祉、環境など多方面における分野の講座が放映されていますので、是非一度ご聴講してみてはいかがでしょう。

エル・ネット「オープンカレッジ」の講座内容は、インターネットのホームページ（URL http://www.opencol.gr.jp）で確認頂くか、生涯学習館玄関の掲示板でご覧下さい。（聴講料は無料です。）

『はにしの里』の古墳群



家形埴輪（富士山古墳出土）

壬生町の北西部にある羽生田地区は、昔から多くの古墳があり、畑や山林などから埴輪や土器などが出土しています。このことからその当時の埴輪や土器を焼いた専門の人たちが住んでいたと考えられ、これらの人たちが「土師氏または埴氏」と呼ばれていたことから、現在羽生田地区を『はにしの里』と呼んでいます。

『はにしの里』の主な古墳としては、国指定史跡の「茶臼山古墳」、県指定史跡の「富士山古墳」・「長塚古墳」、そして「桃花原古墳」があげられます。

近年の発掘調査により、「富士山古墳」からは国内でも最大級の家形埴輪などが出土し話題を集めました。

また、「桃花原古墳」の発掘調査では『前庭』と呼ばれる祭の場が、ほぼ完全な形で確認されるなど徐々にではありますが、『はにしの里』の古墳群の実態が解明されようとしています。

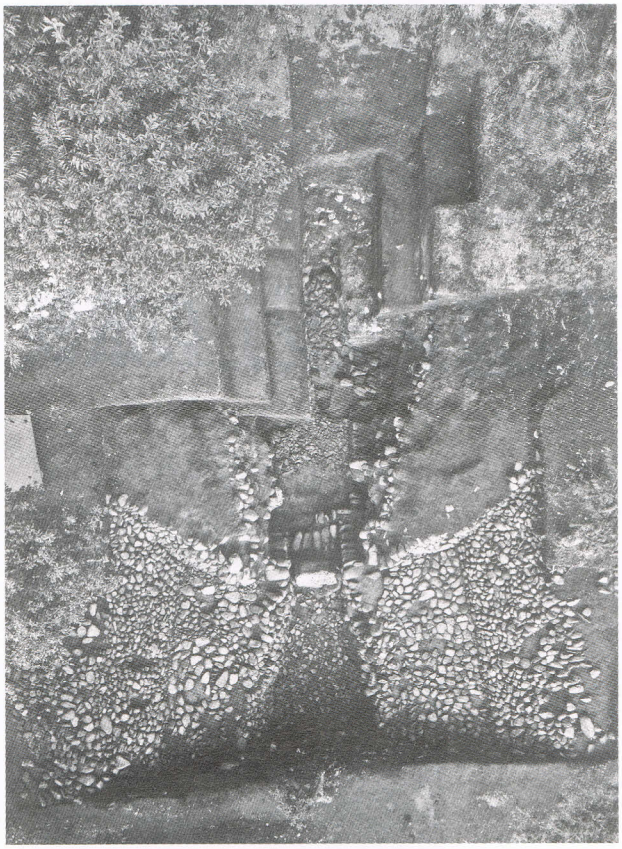
桃花原古墳

桃花原古墳は、墳丘の直径が約63mの円墳です。墳丘は三段に作られ、墳丘の斜面は人の頭大の河原石で覆われています。当時の人々は、高く積み上げられた河原石の山を見上げていたと思われます。

桃花原古墳の『前庭』は、石室の入口に通じる「通路」とその両側に造られた「平坦面」からなります。いずれの箇所も河原石を積み上げて造られています。『前庭』部からは、刀などの武具や金や銀により装飾された馬具が出土しています。

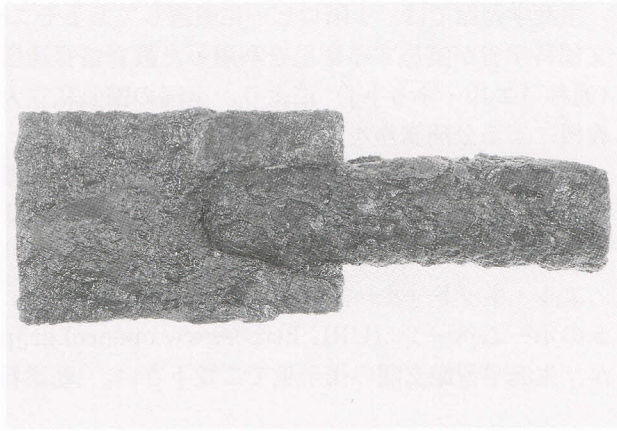
桃花原古墳の石室については徹底的な破壊を受けていましたが、詳細な調査の結果、石室は「玄室」と「前室」の二つの部屋から構成されていることが確認できました。石室を破壊した理由の一つとして、破壊後の埋土の中から凝灰岩で造られた「五輪塔」が出土していることから、「五輪塔」を造るための石材を得るため、と考えられます。

今回の桃花原古墳の調査により、県内ではまだまだ知られていなかった、古墳時代の終末の実態が明らかになっていくと思われます。



桃花原古墳「石室・前庭部」

桃花原古墳「前庭部」



斧状鉄製品（桃花原古墳出土）

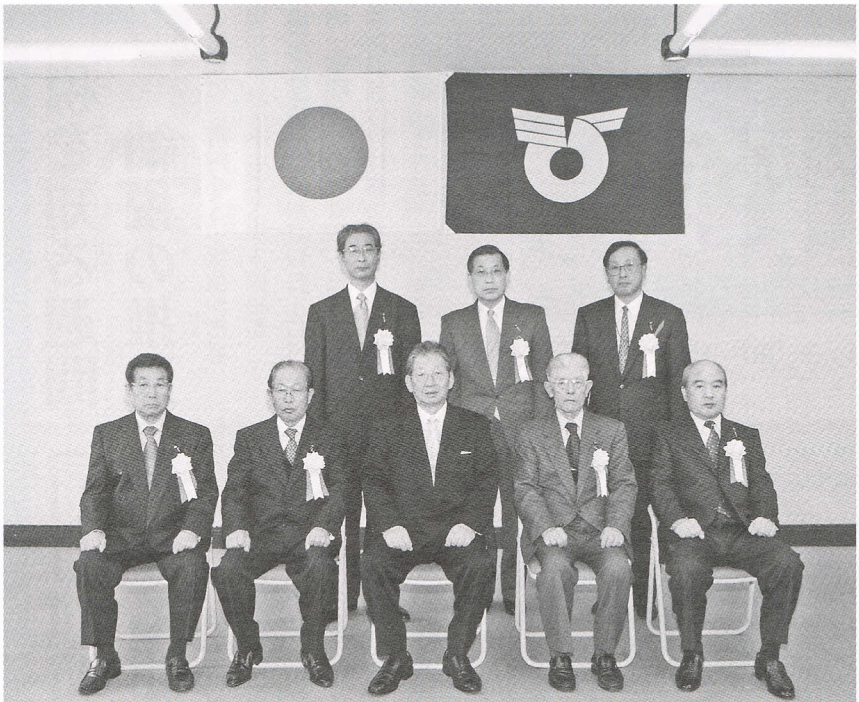
自治功労者表彰

…町発展への功績をたたえる…

永年にわたり、町政の発展、福祉の増進等で多大な功績を残された方々に対し、その功績をたたえる自治功労者の表彰式が11月1日、役場正庁で行われました。

今年は、功労賞7名の方々が表彰されました。

受賞者の皆様、おめでとうございます。そして、町に対するご尽力、誠にありがとうございました。



受賞者の方々（敬称略）
髙山文雄　上野忠之　水井正成
橋詰　通　大関文雄　清水町長　中嶋文一郎　杉本　清

◆受賞者の方々（敬称略）

●功労賞（あいうえお順）

◎通算により学校歯科医・国民健康保険運営協議会委員・スポーツ振興審議会委員の職にあった方
上野忠之　中央町8番8号

◎通算により農業委員会委員・社会教育委員・企画委員会委員・消防団員の職にあった方
大関文雄　上田967番地1

◎15年以上都市計画審議会委員の職にあった方
杉本　清　幸町二丁目13番9号

◎通算により町議会議員・消防団員の職にあった方
髙山文雄　国谷996番地1

◎通算により人権擁護委員・国民年金協力委員・消防団員の職にあった方
中嶋文一郎　下稲葉871番地

◎通算により学校歯科医・国民健康保険運営協議会委員・行政相談委員の職にあった方
橋詰　通　大師町19番38号

◎通算により町議会議員・社会教育委員の職にあった方
水井正成　本丸二丁目15番59号

明るい選挙啓発ポスターコンクール

県審査（第二次審査）で7名が入賞

明るい選挙の啓発運動の一助とするため、全国の児童生徒のみなさんを対象とした「第56回明るい選挙啓発ポスターコンクール」が行われました。

県内の小・中・高生から総数27,788点の作品が寄せられ、第一次審査（市町村単位）を通過した829点が第二次審査（県）に出品されました。

本町においても115点にのぼる作品の応募があり、その中から優秀作品として、第二次審査推薦作品20点を出品し、その結果、本町では、入選に2点、佳作に5点が選ばれ、全部で7点が、賞に入るすばらしい成績を上げました。

また、下都賀郡町村選挙管理委員会連合会入選作品5点が選ばれました。

審査結果は、次のとおりです。

◎第二次審査（県）
入選　山口　諒子（羽生田小6年）
佳作　早乙女　卓（壬生中1年）
佐藤美帆奈（壬生小2年）
成田　萌子（壬生小4年）
坂本　慶應（壬生小4年）
金子　七瀬（壬生東小4年）
佐々木歩惟（壬生中2年）

◎第一次審査（町）
入選　野澤理花子（壬生小3年）
石塚　達至（壬生小6年）
武藤　千佳（壬生東小3年）
谷口有寿佳（睦小4年）
神永　朋佳（稲葉小3年）
山野井理恵（壬生北小6年）
大久保敏枝（安塚小4年）
粂川　愛（壬生中1年）
小倉　未帆（壬生中1年）
益田久美子（壬生中3年）
冨樫小百合（壬生中3年）
大橋　知世（壬生中3年）
小菅　陽美（壬生中3年）

◎下都賀郡町村選挙管理委員会連合会入選
紺野　晋吏（壬生小2年）
稲葉　千遥（稲葉小5年）
伊澤あさ実（壬生北小6年）
鈴木　亮平（壬生中2年）
江田知奈美（壬生中2年）

税を知る週間（11月11日～17日）
納税の推進に関するポスター標語を展示

町では、町内小・中学生から募集しました納税ポスター標語を、「税を知る週間」（11月11日～17日の一週間）に合わせて、役場住民課窓口前の町民ホールに展示しました。

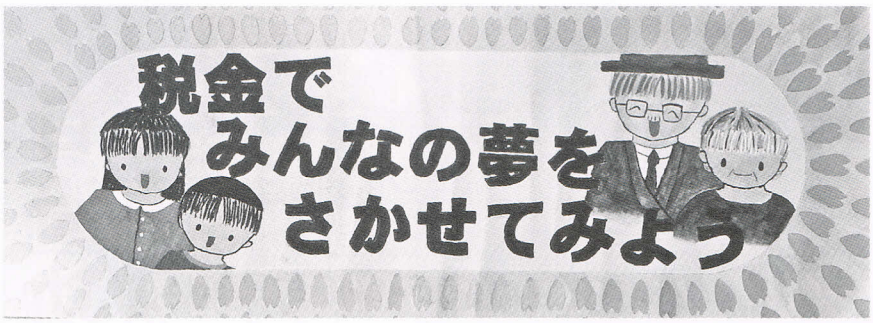
これは、次代を担う児童・生徒が、夏休み期間中に「納税に関するポスター標語」を作成することにより、家族みんなで税について考え、税についてより関心と理解を深めていただこうと、町内小学6年生及び中学2年生を対象に、毎年実施しています。

今年も総数453点の作品が応募され、最優秀賞2点、優秀賞10点及び佳作28点を表彰、その中から優秀作品12点を展示したものです。

最優秀賞
長　那々子（藤井小6年）
山口　友梨（壬生中2年）

優秀賞
熊倉　花菜（壬生小6年）
篠原　舞（羽生田小6年）
山口　諒子（羽生田小6年）
渡辺　美里（睦小6年）
田中　泰斗（安塚小6年）
佐々木歩惟（壬生中2年）
鈴木　宏美（壬生中2年）
安納かおる（壬生中2年）
井田　絢（壬生中2年）
阿彦　実希（南犬飼中2年）

また、栃木税務署等で募集しました中学生の標語は、町内から957点の作品が寄せられ、優秀作品6点がそれぞれ入賞、同じく展示されました。



最優秀賞　長　那々子（藤井小６年）

最優秀賞　山口　友梨（壬生中２年）

栃木税務署長賞
鯉沼　翔子（壬生中2年）
標語「税金で　開く未来と　僕らの町」

伊藤　翼（南犬飼中1年）
標語「税金は　豊かな未来へ　つなぐ橋」

租税教育推進協議会長賞
早乙女　航（壬生中3年）
標語「街角に　納めた税金　生きている」

栃木県税事務所長賞
大栗　千佳（南犬飼中3年）
標語「税金で造りだす　豊かな未来と　みんなの笑顔」

壬生町長賞
甫坂美有紀（壬生中3年）
標語「納めよう　あなたの未来　守るため」

渡邉　瑞紀（南犬飼中2年）
標語「納税は　理想の町への　第一歩」

法務局認可を装った「架空請求」にご用心！

最近、「法務局認可法人」、「法務局特殊法人」等を名乗り、法務局と関係があるように装った架空請求が多発しておりますので、文書が届いたときは、消費生活センター等にご相談ください。

《対策》
- 利用した覚えがなければ払わない。
- 相手に連絡しない。（電話番号等の個人情報は絶対知らせない。）
- 請求はがき等の証拠は保管する。
- 悪質な取り立ての場合は警察へ届け出る。
- 「裁判所」から「呼出状」などの文書が届いた場合は、その連絡先が真実のものであるかを電話帳や消費生活センターなどで確認し、真実裁判所からのものであった場合は、直ちに弁護士や同センターに相談するなどの対応をとりましょう。

【相談窓口】
◎栃木県消費生活センター　☎028－665－7744
◎内閣府　生活・物価ダイヤル　☎03－3581－3999
◎法務省　大臣官房司法法制部審査監督課　☎03－3592－7781
◎総務省　電気通信消費者相談センター　☎03－5253－5900

スポーツ

第20回壬生町バスケットボール大会

（11月7日壬生中体育館、14日南犬飼中体育館　男子17チーム、女子8チーム参加）

◆成　績

男子の部
優　勝　ライトワン WED.circles（ウェンズサークル）（代表　南雲義晴）
準優勝　ヌーディスツ（代表　福田安孝）

女子の部
優　勝　おとめ組（代表　福田美穂）
準優勝　EARLY（アーリー）（代表　川又由美子）

第7回壬生町小中学生柔道大会

（11月14日　町総合運動場武道館）

◆成　績

○小学校1・2年生の部
優　勝　鬼澤悠介（壬生小2年）
準優勝　長嶋和也（壬生小2年）

○小学校3・4年生の部
優　勝　中川翔太（安塚小4年）
準優勝　出井聖人（まさと）（安塚小4年）

○小学校5・6年生の部
優　勝　林　貴章（壬生小6年）
準優勝　荒川晴香（稲葉小5年）

○中学生の部
優　勝　奥村ハンセン（南犬飼中2年）
準優勝　早乙女巧（作新中1年）

鬼澤さん　中川さん　林さん　奥村さん

第14回下都賀地区スポーツレクリエーション大会

（10月24日　小山総合公園・県南体育館　7種目約1,200人参加）

◆成　績

ソフトバレーボール
女子の部フリー
ブロック優勝　LAKE（レイク）（壬生）
ブロック2位　NIKKAN☆Fighter,s（壬生）

ラージボール卓球
女子の部
優　勝　大橋有巳（壬生）
準優勝　池田禮子（壬生）

グラウンドゴルフ
女子西コース
優　勝　青木ミツ（壬生）
準優勝　出井キミ子（壬生）

ペタンク
ブロック3位
壬生町ペタンククラブ（壬生）

大会のようす（ソフトバレーボール）

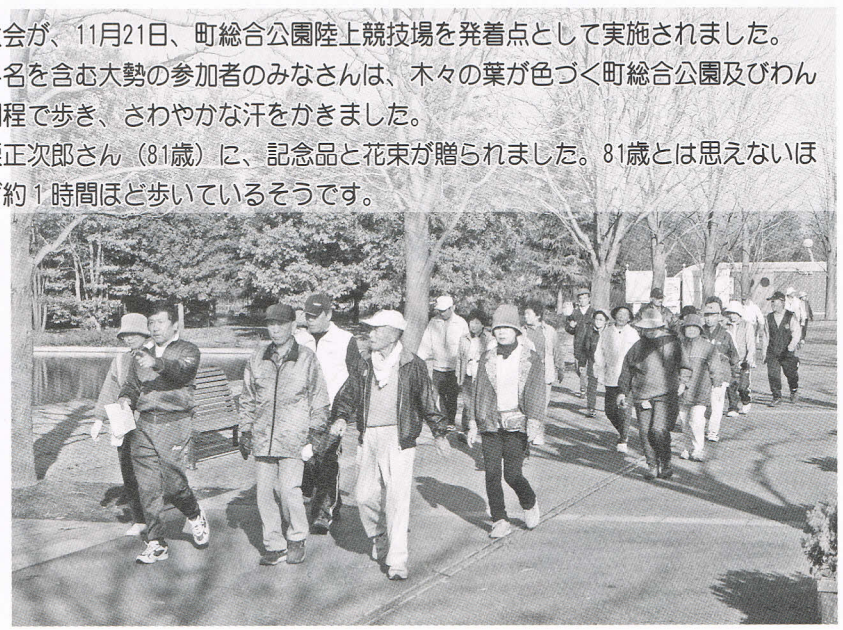
第34回町民歩け歩け大会
秋晴れの中、公園を軽快に歩く！

34回を数える町主催の町民歩け歩け大会が、11月21日、町総合公園陸上競技場を発着点として実施されました。

秋晴れの中、集まった70歳以上の方24名を含む大勢の参加者のみなさんは、木々の葉が色づく町総合公園及びわんぱく公園内4キロの道のりを、約1時間程で歩き、さわやかな汗をかきました。

また、大会参加者中、最高齢者の大栗正次郎さん（81歳）に、記念品と花束が贈られました。81歳とは思えないほど颯爽と歩く大栗さんは、毎朝欠かさず約1時間ほど歩いているそうです。

篠原教育長　大栗さん



まちのわだい

石島孝一さん
全国障害者スポーツ大会で銀メダル獲得

11月13日から３日間、埼玉県熊谷スポーツ文化公園陸上競技場を主会場に開催されました、第４回障害者スポーツ大会「采の国まごころ大会」に、県代表として参加されました石島孝一さんが、フライングディスクで見事銀メダルを獲得し、その報告に11月17日、町長室を訪問されました。

清水町長は、「銀メダルを獲得したことはすばらしいことです。今後もがんばってください。」と称賛されました。

寺内所長　鈴木さん　石島さん　清水町長

山崎会長　　戸崎さん　人見さん　松本さん　清水町長

民生委員児童委員９名が
永年勤続表彰を受ける

17年以上の永年に亘り民生委員児童委員として、地域の福祉向上に尽力されました戸崎豊治さん、人見イハさん、松本景子さんが、全国民生委員児童委員連合会会長表彰を受け、11月18日、受賞のあいさつに来庁されました。

また、７年以上の永年に亘り民生委員児童委員としてご尽力された柏崎美代子さん、小林キミ子さん、石井末代さん、栄松澄子さん、木野内啓一さん、中村敏子さんが、栃木県民生委員児童委員協議会会長表彰を受けられました。

中川善市さん
農林水産大臣感謝状受賞

このほど中川善市さんは、農業経営統計調査の永年協力者として、農林水産大臣から感謝状を受賞されました。

中川さんには、永年に亘り農作物の生産にかかった経費や資財の投入量並びに、毎日の労働時間等について、詳細に記帳していただいております。

これらの記帳の結果は、農業所得の増大、農家の生活向上、農業経営の改善、生産出荷の合理化、価格安定等を図るための基礎資料として、多方面に広く活用されており、その功績は多大なものがあります。

荒川明さん　須釜作一さんに感謝状
青色申告の推進に貢献

荒川さん

須釜さん

壬生町農業青色申告会（高木信夫会長）所属の元農業簿記指導員の荒川明さん、須釜作一さんが、永年の簿記の記帳指導並びに青色申告の推進に大きな貢献をされたとして、この程、栃木県農業経営者協議会から感謝状が贈られました。

荒川明さんは、昭和59年度から平成15年度までの20年間、須釜作一さんは、昭和61年度から平成14年度までの17年間にわたり、農業簿記指導員として活躍されました。

農業委員会が
農業施策・予算についての要望書を提出

町農業委員会（篠原富太郎会長）では、今後の農業施策や予算についての要望書を、11月19日に町長室を訪れ町長に手渡しました。

農業委員会は、今回10項目の建議・要望を提出しており、ふれあいとうるおいに満ちた農村づくりの支援、食農教育の推進と地域（野菜）食材の学校給食への利用促進、「みぶ・アグリチャレンジャー支援事業」等の継続支援、農業用廃ビニール等不法投棄の防止・適正処理、農業者組織活動に対する支援、農村女性の社会参画の促進、Uターン就農者・新規参入者への支援、農作業の委託に対する補助、土地改良区に対する支援体制の整備、農業集落排水の計画的な推進に関した内容となっています。

宇賀神さん　粂川さん　篠原さん　神永助役

経済産業省所管
統計調査従事に感謝状

この程、粂川正光さん、篠原富太郎さん、宇賀神二三子さんは、永年に亘り経済産業省所管統計調査に従事され、多大な貢献をされたとして、経済産業省経済産業政策局調査統計部長から、感謝状を受けました。

粂川さんは昭和61年から、篠原さんは平成元年から、宇賀神さんは昭和60年から工業統計調査や商業統計調査等の調査にご協力をいただいております。

栗原芳子さん
消費生活功労者知事表彰

11月23日、真岡市で開催された消費者フォーラムにおいて、壬生町消費者友の会の栗原芳子さんが、消費生活功労者知事表彰を受賞されました。

栗原さんは、昭和63年に町消費者友の会会員となられ、平成３年から２年間副会長として、その後平成５年から現在に至るまで会長として、会の運営発展に尽力されています。

栗原さん　清水町長

小野さん　鵜飼さん　清水町長

鵜飼幹雄さん　小野淳一さん
青年海外協力隊員として派遣

この程、青年海外協力隊隊員として国際協力機構から派遣されることになりました、鵜飼幹雄さんと小野淳一さんが、11月25日、出発のあいさつに来町されました。

鵜飼さんは、フィリピンでヌマンシア水道事業体で、浄水場の維持管理やモニタリング、スタッフに対する安全性や効率性の指導などを行います。また、小野さんは、中華人民共和国で淑浦県職業中等専門学校で、新しく導入した設備を活用した実習等のコースデザインの作成や、家電の原理や修理技術習得のための実習授業などを行います。赴任期間は、共に平成16年12月から２年間です。

親子でエコ・クッキング教室
とおりまち保育園

11月12日、とおりまち保育園の年長児16名の親子が、町保健福祉センターで、親子料理に挑戦しました。

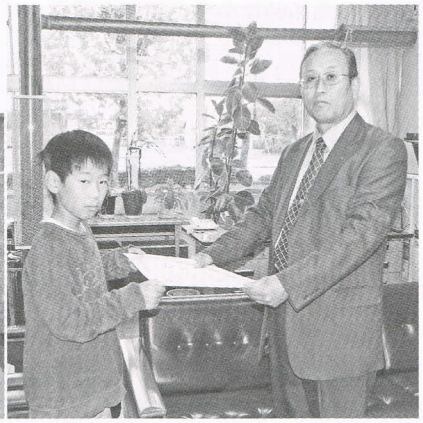
同保育園では、生ゴミを肥料として再利用した野菜作りや、節水、節電など環境に配慮した生活を実践しており、今回の親子クッキング教室は、こういった活動の一環として、「食に関する知識や健全な食生活の推進」、「自然の恵みや命の大切さに気づき、感謝の気持ちを育てる」、「親子のスキンシップを図る」などを目的として実施されました。

この日のメニューは、地元産のかんぴょうを使った「かんぴょうのクリームリゾット」、園児たちが春先に苗を植え付け、この秋収穫したサツマイモを使った「いが栗揚げ」、野菜を豊富に使った「スープ・ジュリエンヌ」の３品。家では料理をしたことが無い園児たちも、お母さんやお父さんに手助けをしてもらいながら、サツマイモの皮をむいたり切ったりして、とても楽しそうでした。「お父さんお料理上手！」といった園児の声も聞かれるなど、新たな発見もあったようです。

二人の男のお子さんと参加したお父さん高舘一弘さんは、「普段家庭ではやらないことなので緊張しましたが、楽しく参加できました。」と、笑顔で話してくれました。料理を通して、親と子の信頼関係がさらに深まったようです。

山室達哉さん（睦小４年）
ふるさととちぎ農業・農村児童画コンクール優秀賞受賞

受賞作品「かんぴょう作り」



山室さん　大橋校長

㈶栃木県農業振興公社ふるさととちぎ21活性化塾が募集した本コンクールで、山室達哉さん（睦小４年）が中学年（３～４年生）の部で、優秀賞を受賞されました。

同コンクールは、次代の農業を担う県内小学生を対象に、農村の風景やたたずまい、農家の人々の暮らしの様子、農作業風景などを描くことによって、農業・農村のすばらしさを知ってもらおうと毎年実施されているものです。今年は、１９８校から１,２４７点の応募がありました。

「そば打ち」や「お国自慢料理」で国際交流
第５回壬生町国際交流「食と文化のつどい」

そば打ち体験

10月31日、壬生町国際交流推進協議会（荒川誠一会長）による「食と文化のつどい」が壬生中央公民館で開催され、さまざまな国の方と町民約３００名が、お互いの食と文化の交流を図りました。

アトラクションでは、ブラジルの伝統的な踊り「サンバ」、タイの伝統的な格闘技「ムエタイ」、釜ヶ淵の出井喜峰さんによる「民謡」など、各国の伝統的な文化が披露されました。

食文化体験交流では、参加されたみなさんが持ち寄ったお寿司、天ぷら、焼き鳥、日本そばなどの日本料理や中国料理、ペルー料理、ブラジル料理など、お互いのお国自慢の手料理や、餅つき、そば打ち、茶道、書道の日本文化体験などを通して、国際交流を深めていました。

山形風芋煮で秋の味覚を満喫
第５回福和田芋煮会

大橋良平会長

11月21日、秋晴れの中、福和田花壇管理組合（大橋良平会長）主催の芋煮会が、福和田地内の田んぼで開催されました。

同組合の女性団体のみなさんがつくった山形風芋煮は、栃木和牛と地元産の新鮮な野菜が豊富に使われ、大鍋に用意された約３００食は、あっという間に売り切れてしまうほどの人気でした。

また、会場では野菜や苗木の無料配布、各種模擬店、輪投げなどのゲーム、熱気球の搭乗体験などが行われ、約８００人の家族連れで賑わいを見せました。

家族連れで会場はいっぱい

地域ぐるみの自主防犯活動で表彰
上田自治会

10月14日、宇都宮市文化会館で開催された「地域安全県民大会のつどい」において、上田自治会（大関禎男会長）が栃木県警察本部長並びに県知事表彰を受けました。

同自治会は、見通しを遮り防犯上危険であった旧上田駐在所跡地のブロック塀を、自治会総出の奉仕作業でこれを取り壊し、積極的に自主防犯活動を行い、安全安心な街づくりに寄与したとして、今回の受賞となりました。

上田自治会のみなさん（作業現場にて）

犯罪の予防、少年の非行防止、防犯意識の高揚を図る！
稲葉・上田駐在所連絡協議会

稲葉駐在所連絡協議会では、10月13日、管内（上稲葉、福和田、羽生田、七ツ石）の学校、神社、コンビニエンスストアー等、10カ所をパトロールし、犯罪の予防、少年の非行防止等を呼びかけました。

また、上田駐在所連絡協議会では、管内の南犬飼中学校で登校する生徒に防犯ベルの所持点検を実施し、防犯意識の高揚を訴えました。

夜間パトロールする稲葉駐連協のみなさん

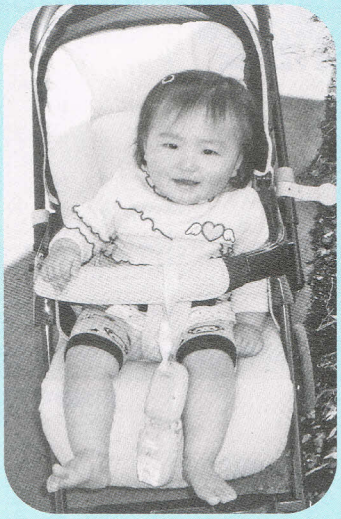
登校する生徒に声を掛ける上田駐連協のみなさん

お詫びと訂正

広報壬生11月号15頁、「スポーツを通して防犯意識の高揚を図る」の中で、グラウンドゴルフ大会成績「2位梁島英子」とありますが、正しくは「2位梁島英夫」さんの誤りでした。お詫びして訂正いたします。

の広場

鈴木蒼空（そら）ちゃん（西高野）
（H15. 12. 16生）



佐藤愛華（あいか）ちゃん（北小林）
（H15. 12. 3生）

米木楓滴巴（ふたば）ちゃん（H10. 12. 8生）
眞白（ましろ）ちゃん（H12. 6. 5生）
（中泉）

わが家のアイドル

次回は２月生まれのアイドルを募集します。（締切１月20日）。写真はお返しします。

応募者多数の場合は抽選になることもありますのでご了承ください。

写真裏に住所、氏名、保護者名、生年月日、電話番号を書いて、役場企画財政課（直接或は郵便で〒321－0292壬生町通町12－22）または、稲葉・南犬飼各出張所、生涯学習館へ。

壬生北小学校

学校・家庭から地域へと広めたい環境保全・省エネ活動

壬生北小学校（稲見 均校長）において、11月6日、全児童159名と保護者合わせて約320名が、環境保全と省エネルギーをテーマとした体験活動を実施しました。

同校は、平成8年から「エコクラブ」を結成し、学校林「北っ子の森」を中心に、自然環境を大切にした活動を行っており、全国大会でその活動を発表したり、壁新聞で県1位になるなど、環境問題に取り組んでいます。

また、平成15年からは㈶省エネルギーセンターから、省エネルギー教育推進モデル校の指定を受け、節電、節水など省エネルギー推進活動を実践しています。

この日は、こういったこれまでの活動を踏まえ、午前中、全児童が学習発表を行いました。午後には、環境に配慮した親子活動を実施。学校活動支援者として、壬生町消費者友の会（栗原芳子会長）、壬生町ひまわり会（小林優子会長）、料理研究家・福田静江さんらの協力のもと、1．洗剤を付けないでも洗える「アクリルたわしづくり」、2．いらなくなった包装紙の再利用「包装紙のブローチづくり」、3．大人が座っても壊れない「牛乳パックのイス」、4．学校給食の廃油で作る「廃油石けん」、5．できるだけゴミを出さない「エコクッキング」の5グループに分かれて実施しました。各会場では、親子が協力して活動する姿があちこちで見られました。

同校では、今後、「学校、家庭（親子）活動から、地域へと広めた活動の推進を図っていきたい。」とのことでした。

廃油で石けんづくり

牛乳パックでイスづくり

みんな

中川眞大（まひろ）ちゃん（台坪）
（H14. 12. 4生）

東内　遥（はるか）ちゃん（万町）
（H15. 12. 1生）

「とちぎファームフェスタ2005（平成17年11月3日～6日）」
プレ大会が羽生田地内県有地で開催

11月3日、羽生田地内の県有地を会場に「第17回栃木県ホルスタイン共進会・第1回栃木県ジャージー共進会」（栃木県酪農業協同組合連合会など主催）が開催されました。

今大会は、来年11月3日から6日の4日間、同会場で開催される「第12回全日本ホルスタイン共進会・第4回全日本ジャージー共進会」をメインとした「とちぎファームフェスタ2005」のプレ大会に位置づけられ、さまざまな協賛事業や搾乳体験など催しが開催され、大勢の人で賑わいました。

イベントのオープニングでは、清水英世町長が歓迎のあいさつをしたほか、羽生田小学校全校児童の合奏や壬生児保育園児の円仁太鼓が披露されるなど歓迎行事が行われました。

また、同時開催として、ＮＨＫきょうの料理でおなじみの清水信子先生による「ＮＨＫふるさとの食日本の食」が、隣接した町清掃センター会議室で開催され、栃木の特産物を使った料理が紹介されました。

審査会場の様子

地元のレシピ紹介では、壬生町農村生活研究グループ協議会（鯉沼玲子会長）が、町の特産かんぴょうを使った料理「かんぴょうのキムチあえ」と「かんぴょうのごま酢あえ」を紹介し、おいしいと大変好評でした。

町の特産、かんぴょうを使った料理を紹介する鯉沼さん（右端）

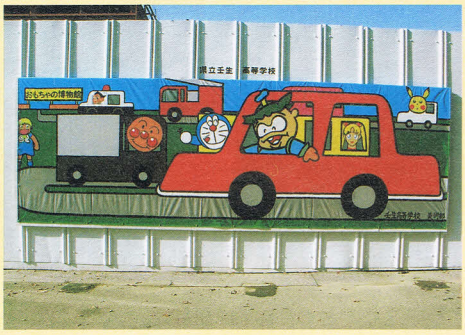
イベントステージで「円仁太鼓」を披露する壬生寺保育園児のみなさん

「国谷幼稚園児」「壬生東小児童」「壬生高校生徒」が、イメージアップ壁画を制作

この程、平成17年3月を工期として建築中の、おもちゃ博物館ジオラマ棟建築工事安全施設フェンスに、縦1・8㍍横5・4㍍の壁画が掲示され、来場者の目を楽しませています。

壁画は、国谷幼稚園の年長児77名による「元気いっぱい『未来に翔くこどもたち』」、壬生東小学校4年生56名による「楽しくて、明るくて、行きたいね『楽しいわんぱく公園』」、壬生高校美術部員6名による「おもちゃ博物館の楽しさ『ミニカーとそれに乗るキャラクター達』」の3作品で、いずれも夢を与えてくれる大作です。来館の折りは、是非ご覧ください。

国谷幼稚園



壬生高等学校

壬生東小学校

寄付

◆社会福祉協議会へ

（○数字は寄付回数）

虹の会様⑲　1万円
壬生町たばこ販売組合様②　3千10円
壬生町老人クラブ連合会様　6万3千374円
東彩ガス㈱壬生営業所様⑨　3千547円
墨絵クラブ様⑬　1万円
壬生町盆栽クラブ様⑬　1万円
おもちゃのまち自治会チャリティそばまつり会様②　1万4千503円
壬生町商工会女性部様⑫　3千552円

◆町へ

11月22日、壬生町商工会青年部（荒川清部長）のみなさんが役場を訪れ、10月31日に実施した産業祭での益金88，638円を寄付されました。

私の作品

絵画「私の学校」

藤井小　6年
長 那々子

藤井小　6年
山﨑 大樹

「夢は宇宙飛行士」

1月の納税等

●町県民税（4期）
納期限　1月31日

まちのうごき

12月1日現在

総人口	40,063	人（	48）
男	19,625	人（	25）
女	20,438	人（	23）
世帯数	13,476	世帯（	35）

（　）内は前月比